

テーマ2 暮らしの質を高める「地域課題解決」

課題	富士山活用型インバウンド&周遊観光促進
現状の取組と課題	・世界で唯一、日本一高い富士山と、日本一深い駿河湾の両方を持つという稀有な自治体。 ・富士山登山ルート 3776（推奨行程 3 泊 4 日）の設定はあるが、弾丸登山やトレイルランナー挑戦者の増加により平均市内滞在日数が少なく市内経済への波及効果が限定的。 ・東京近隣観光への宿泊地としての利用が目立つ。 ・市内観光をする方はいるものの、体験コンテンツが少ないまたは告知不足により市内消費額が少ない。
実現したい未来	1.富士市が「観光の目的地」になる 2.デジタルで、タビマエ・タビナカ・タビアトを通じた「シームレスな旅」が実現する
募集するスタートアップ等のイメージ ※右記記載以外にも、自由に提案ください。	【ここにしかない体験を創る「コンテンツ造成」分野】 ・「富士山」や「駿河湾」の自然と、地域の産業・文化・食を組み合わせ、ここでしか体験できない高付加価値なツアーやアクティビティの企画 ・旅行者が「わざわざ買いたい」と思い、SNS 等で発信したくなるような、物語性のあるオリジナル土産品の開発・販売 ・地域の案内人との交流や、民泊、農家・漁師体験などを通じて、富士市の日常や暮らしに深く触れることができる機会の提供 【旅の満足度を高める「プラットフォーム・サービス」分野】 ・市内の交通、宿泊、体験活動の検索から予約、決済までを一つで完結できるなど、旅行者向けの統合デジタルサービスの開発・運営 ・手荷物の一時的預かりや拠点間配送など、旅行者がより手軽に、快適に周遊できるための物理的なサポートサービス ・ハラルやベジタリアン、アレルギー対応など、多様な食文化や習慣を持つ旅行者への食事や情報提供を行う事業 【世界の旅行者に魅力を届ける「マーケティング」分野】 ・特定の国や地域の文化、旅行者の趣味嗜好を深く理解し、ターゲットに響く効果的なプロモーションの展開 ・富士市の景観や体験の魅力を、臨場感や物語性をもって伝える映像や写真などのクリエイティブコンテンツの制作・発信 ・旅行者の行動データを収集・分析し、観光施策の改善や新たな体験コンテンツ開発に繋げるデータマーケティングの実施
アセット	富士市交流観光課、富士山観光交流ビューロー、富士川楽座
イメージ写真	

課題	林業の担い手増加・人材育成
現状の取組と課題	・ヒノキ等の人工林の多くが利用期を迎えるも、木材価格の低下と施業コストの増加、労働環境等により林業の担い手が減少している。 ・林業就業者の高齢化等による施業能力、木材供給量の低下、重作業負担や労働災害の多さが課題。 ・担い手を増やすために、森林環境学習や林業体験、現場見学会を実施している。 ・労働災害の減少を目指して、安全装備品の購入や安全講習の受講等に対して補助金を交付している。
実現したい未来	1.林業が「稼げる・安全で・誇り高い」産業になる 2.持続可能な「スマート林業」を実現する
募集する スタートアップ等 のイメージ ※右記記載以外に も、自由にご提案 ください。	【持続可能な森をつくる「スマート林業」分野】 ・広域な森林の状況を効率的に調査・分析し、適切な管理計画の策定を支援する事業 ・林業の現場作業における身体的な負担を軽くしたり、作業の安全性を高めたりする装備やシステムの開発 ・伐採された木材の生産履歴を追跡可能にし、需要と供給を円滑に結びつける流通の仕組みづくり 【新たな担い手を育む「人材育成・マッチング」分野】 ・「林業に関心がある人々」と「地域の林業事業者」を繋ぎ、短期的な林業体験から本格的な就業までを支援する事業 ・林業の仕事の魅力や社会的な意義を、若者や未経験者にも分かりやすく伝え、林業への関心を高める情報発信やイベントの企画 ・多様な働き方のニーズに応える、副業や兼業、週末林業といった新しい形での林業への関わり方の提案・創出 【稼げる林業を支える「経営支援」分野】 ・中小規模の林業事業者の事務負担を軽減する、使いやすい経営管理・販売管理・工程管理の仕組みやサービスの提供 ・複数の林業事業者が連携して、資機材の共同購入や木材の共同販売を行うことを支援する仕組み
アセット	富士市林政課、富士市森林組合などの林業事業体、民間事業者
イメージ写真	

課題	未整備の畑・山林の再生
現状の取組と課題	【農業・林業】 ・代替わりや収益化が見込めないとして、手入れが行われない畑・山林が増加。 ・このような畑・山林が増えることで、水害や土砂災害の増加につながる。 ・野生動物被害や地形条件等により、手入れ等の整備、利活用のコストが高い。 【林業】 ・森林経営管理制度を活用した森林の集約化による整備を進めている。
実現したい未来	【農業】生産基盤が保全・強化され、価値を生み続ける農地へ 【林業】全ての森林が管理され、所有者と地域に恩恵をもたらす森へ
募集する スタートアップ等 のイメージ ※右記記載以外にも、自由にご提案 ください。	【遊休資産の「再生・活用」分野】 ・耕作放棄地に適した、高付加価値な農作物（薬草、果樹等）の栽培と、その加工・販売までを手掛ける事業 ・未整備の森林を、レクリエーションの場として再生・活用する事業 ・獣害の原因となる野生動物を、ジビエ等の資源として活用する事業 【新たな担い手と呼び込む「参入支援」分野】 ・新規就農・就林希望者に対して、技術指導から事業計画の策定、販路開拓までを一体的に伴走支援するサービス ・高額な農機具や林業機械を、必要な時だけ利用できるシェアリング・レンタルサービス ・山林の情報を集約し、「使いたい人」と「貸したい・売りたい所有者」を繋ぐ不動産マッチングと山林活用支援 【持続可能な管理を支える「仕組み・技術」分野】 ・急傾斜地など、人が立ち入ることが困難な場所での草刈りや管理作業を、遠隔操作等の新技術で代行・支援するサービス ・複数の小規模な土地所有者に代わって、森林全体を一体的に管理・活用し、その収益を分配する事業モデル ・所有者が遠隔地にいても、自身の農地や山林の状況や資産価値を手軽に把握できる情報管理・提供サービス
アセット	富士市農政課、富士市林政課、農業組合・森林組合などの事業体・民間事業者
イメージ写真	 